

## 付録資料 2 先行研究文献リスト

この文献リストは、今回の調査研究の「実態調査」と「認識調査」の構成を踏まえ、それぞれに関係する文献を示すものである。対象期間は2001年以降に刊行されたものとなっている。

「実態調査」に関する部分については、館種別に類型化して示すとともに、あわせてデジタルレファレンスサービス等について特に区別して示している。この中で、特に今回の質問紙調査の基礎となった文献としては、全国公共図書館協議会（2004）の実態調査があり、この他にも杉江（2005）、高浪（2004）などが意識された。

「認識調査」に関係する部分については、「情報ニーズ」と「情報探索行動」に類型化して示している。「情報ニーズ」に関する文献においては、Higa-Moore, M. L. et al.（2002）、坂井ら（2003）、などが今回の調査研究において意識された。また「情報探索行動」に関する文献では、Case（2012）、三輪（2012）などのほか、ウェブ上やハイブリッドな環境での情報行動に迫ったものとして寺井（2011）の研究がある。

なお本文献リストでは、複数の領域にまたがるものは、どちらか一方に位置づけている。またこの文献リストが網羅的なものとなっていないことは予めお断りしておく。

## 「レファレンスサービスの実態調査に関する文献」

### 1. 公共図書館を対象としたもの

1. 桑原芳哉. 特集: 「蔵書」を武器にする: 横浜市立図書館「庁内情報拠点化事業」における事業の経過と資料提供・レファレンスの現状について. 現代の図書館. 2001-12, 39(4), p. 198-204.
2. 池田祥子ほか. 都立中央図書館・新世紀のレファレンスサービス: 印刷資料と電子資料の共用を目指して(平成13年度事例分析プロジェクト報告書). 東京都立中央図書館研究紀要. 2002, (32), 1-50, 巻頭 3p, 1-9.
3. 杉江典子. 公共図書館におけるレファレンスサービスの現状 滋賀県の事例. *Library and Information Science*. 2002-01, (43), p. 1-32.
4. 東京都立中央図書館情報サービス課. アンケート 区立図書館のレファレンス・サービスについて: 「レファレンス・サービスに関するアンケート調査」報告. ひびや. 2002-02, (151), p. 32-46.
5. 新谷良文. 地域に根ざしたビジネス支援事業 SDI(選択的情報提供) 北広島市図書館におけるモニター事業の報告. 現代の図書館. 2003-06, 41(2), p. 75-81.
6. 杉江典子. 東京都多摩地域の公共図書館におけるレファレンスサービスの特性. *Library and Information Science*. 2003-07, (46), p. 37-49.
7. 斎藤文男. レファレンス・サービス利用者との関係から考える 85%という哀しみと喜び-公立図書館におけるレファレンス・サービスの今とこれから-. 現代の図書館. 2003-09, 41(3), p. 123-129.
8. 全国公共図書館協議会. 公立図書館におけるレファレンスサービスに関する実態調査報告書. 全国公共図書館協議会, 2004, 52p.
9. 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター. 図書館及び図書館司書の実態に関する調査研究報告書: 日本の図書館はどこまで「望ましい基準」に近づいたか. 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター, 2004, 126p.
10. 高浪郁子. 特集: もっとレファレンスをみんなのものに: アンケート 図書館のレファレンス・サービスの実態はどうなっているか?. みんなの図書館. 2004-01, 321, p. 10-22.
11. 高浪郁子. 特集: もっとレファレンスをみんなのものにアンケート: メールレファレンス・サービスの真実. みんなの図書館. 2004-01, (321), p. 38-43.
12. 全国公共図書館協議会. 公立図書館におけるレファレンスサービスの実態に関する研究報告書. 全国公共図書館協議会, 2005, 121p.
13. 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター. 図書館及び図書館司書の実態に関する調査研究報告書 2: 図書館に関する事務事業評価の実態: 都道府県立図書館を中心に. 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター, 2005, 24p.
14. 杉江典子. 図書館先進地域の市町村立図書館におけるレファレンスサービスの特性-滋賀県と東京都多摩地域の比較をもとに-. 日本図書館情報学会誌. 2005-03, 51(1), p. 25-48.
15. 杉江典子. 特集: 図書館における医療・健康情報の提供: わが国の公共図書館による健康情報提供に関する実態調査. 現代の図書館. 2005-12, 43(4), p. 183-192.
16. 日本図書館協会. 図書館の情報サービス(レファレンス・サービス)に関する調査報告書. 日本図書館協会, 2006, 38p.
17. 杉江典子. 特集: 公共図書館のレファレンスサービス-図書館員と研究者の共同研究から: ニューヨーク市クイーンズ区公共図書館における図書館サービス-情報サービスを中心に. 現代の図書館. 2006-03, 44(1), p. 11-25.

18. 中村史子. 特集: 公共図書館のレファレンスサービス—図書館員と研究者の共同研究から: 公立図書館における地域に関するクイック・レファレンスサービスの要件—立川市中央図書館の事例調査. 現代の図書館. 2006-03, 44(1), p. 36-45.
19. 杉江典子. 公共図書館における健康分野のレファレンスブック所蔵状況調査. 現代の図書館. 2007-09, 45(3), p. 165-175.
20. 杉江典子. 全国公共図書館協議会によるレファレンスサービス実態調査報告書. 日本図書館情報学会誌. 200709, 53(3), p. 185-186.
21. 齊藤誠一. 公立図書館におけるレファレンスサービスの担当組織に関する考察. 日本生涯教育学会論集. 2008, (29), p. 43-52.
22. 杉江典子. わが国の市町村立図書館におけるレファレンスサービスの利用者に関する既往調査の傾向. 日本図書館情報学会誌. 2008-06, 54(2), p. 117-131.
23. 辻慶太ほか. Q&A サイトと公共図書館レファレンスサービスの正答率比較. 図書館界. 2010-03, (61)6, p. 594-608.
24. 芳賀こずえ. 業務分析 インターネット時代のレファレンス—神奈川県立図書館レファレンス調査の分析を中心に. 神奈川県立図書館紀要. 2011-03, (9), p. 99-122.
25. 五十嵐花織, 須賀千絵. レファレンスサービス評価法としての覆面調査の設計と試行: 日本の公共図書館を対象とした調査方法の提案. 2011-09, (63)3, p. 232-246.
26. 間部豊, 小田光宏. レファレンス質問への回答を可能にしたレファレンスブックの特性に関する研究. 日本図書館情報学会誌. 2011-09, (57)3, p. 88-102.

## 2. 大学図書館を対象としたもの

27. 池谷のぞみほか. 大学図書館におけるレファレンスサービスの実態. 東洋大学社会学研究所研究報告書. 2001-03, (26), 102p.
28. 小山憲司. サーチャーズの意義 大学図書館におけるレファレンス・サービスとデータベースその現状と図書館員の役割. 情報の科学と技術. 2002-03, 52(3), p. 155-161.
29. 安井裕美子. 日本の大学図書館におけるデジタルレファレンスサービス: 質問紙法による調査結果の分析を通して. 名古屋大学附属図書館研究年報. 2004-03, (2), p. 63-70.
30. 安井裕美子. 日本の大学図書館におけるデジタルレファレンスサービス: 質問紙法による調査結果とその分析. 大学図書館研究. 2004-12, (72), p. 18-29.
31. 安井裕美子. 日本の大学図書館におけるデジタルレファレンスサービス. 医学図書館. 2006-03, 53(1), p. 48-54.

## 3. 公共図書館・大学図書館以外を対象としたもの

32. 村橋勝子. 組織内“ビジネス・ライブラリー”の現状と課題: —「経団連レファレンスライブラリー」の例—. 情報管理. 2002, 45(4), p. 260.
33. 大場利康, 鈴木 宏宗. 特集: レファレンス・サービス—利用者との関係から考える: 国立国会図書館におけるレファレンス・サービスの現状. 現代の図書館, 2003-09, 41(3), p. 143-153.
34. 愛知県勤労会館労働図書資料室. 専門図書館としてレファレンス協同データベースに期待すること—労働図書資料室の現状と課題 (レファレンス協同データベース事業のこれから—システム提供開始から5年目を迎えるにあたって). 国立国会図書館月報. 2008-02, (563), p. 26-27.
35. 大鍋千香子. 特集: 企業の情報部門の現状と展望: 名古屋アメリカンセンター・レファレンス資料室の概要と現状. 情報の科学と技術. 2010-01, 60(1), p. 23-28.

#### 4. デジタルレファレンスサービスを対象としたもの

36. CHAUDHRY A. S., CHOO M. Understanding of library jargon in the information seeking process. *J Inf Sci.* 2001, 27(5), p. 343-349.
37. 伊藤りさ. 米国公共図書館における電子メールレファレンスの実態調査. *カレントアウェアネス*. 2001-04, (260), p. 5-6.
38. 東京都立中央図書館情報サービス課. アンケート 区立図書館のレファレンス・サービスについて:「レファレンス・サービスに関するアンケート調査」報告. *ひびや*. 2002-02, (44), p. 32-46.
39. JANES J. Digital Reference: Reference Librarians' Experiences and Attitudes. *J Am Soc Inf Sci Technol.* 2002-05, 53(7), p. 549-566.
40. 中尾康朗. デジタルレファレンスの動向とその可能性: 米国における調査をもとに. *大学図書館研究*. 2002-08, 65, p. 11-22.
41. 高橋昇. “E-reference Directory of Japan : 日本の図書館における e-reference 調査 (中間報告).” . デジタル時代のレファレンス: 日本研究情報を中心として. 国際交流基金, 2003, p. 69-70.
42. 伊藤民雄. 特集: デジタル・レファレンス: 日本のデジタル・レファレンス・サービスの現状. *大学の図書館*. 2003-09, 22(9), p. 154-156.
43. POMERANTZ J et al. The current state of digital reference: validation of a general digital reference model through a survey of digital reference services, *Inf Process Manag.* 2004-03, 40(2), p. 347-363.
44. 伊藤民雄. インターネットで文献検索+デジタル・レファレンスの現状. *館灯*. 2004-03, (42), p. 1-12.
45. 堀込静香. デジタルレファレンスサービス DRS の現状と考察: レファレンスサービスの新展開とレファレンス事例の公開. *鶴見大学紀要 第4部 人文・社会・自然科学篇*. 2004-03, (41), p. 27-53.
46. 杉江典子. 動向レビュー 米国におけるデジタルレファレンスサービスの動向. *カレントアウェアネス*. 2004-09, (281), p. 12-15.
47. SHACHAF Pnina et al. Service Equality in Virtual Reference. *J Am Soc Inf Sci Technol.* 2008-02, 59(4), p. 535-550.
48. WESTBROOK Lynn. Unanswerable questions at the IPL: user expectations of e-mail reference. *J Doc.* 2009, 65(3), p. 367-395.
49. 辻慶太ほか. 公共図書館デジタルレファレンスサービスの正答率調査: 対面式及び Q&A サイトとの比較を通じて. *図書館界*. 2011-01, 62(5), p. 348-363.

#### 5. その他

50. 今野篤. レファレンス協同データベース実験事業について. *専門図書館*. 2003, (199), p. 9-20.
51. レファレンス協同データベース・システムの現状と展望. *国立国会図書館月報*. 2004-05, (518), p. 16-21.
52. 阿久津聡. 文書館におけるレファレンスの現状と課題--群馬県立文書館の実践とアンケート調査結果から. *双文*. 2007, (24), p. 27-56.
53. 田村俊作. 特集: レファレンス再考: レファレンス再考. *情報の科学と技術*. 2008, 58(7), p. 322-328.
54. 伊藤白, 小澤弘太. 国内における Web 上パスファインダーの現況調査. *情報の科学と技術*, 2008, 58(7), p. 361-366.

55. 原田智子. ハイブリッドライブラリー時代のレファレンスサービスに呼応する司書養成教育. 鶴見大学紀要. 第4部 人文・社会・自然科学編. 2008-03, (45), p. 77-88.
56. 石原眞理. 質の高いレファレンス・サービスの概念--図書館職員と非営利分野のヒューマンサービス従事者へのインタビュー調査を基に. 三田図書館・情報学会研究大会発表論文集. 2010, (2010), p. 37-40.

## 「情報ニーズ・情報探索行動に関する文献」

### 1. 情報ニーズに関するもの

#### 1.1 公共図書館・大学図書館・学校図書館における情報ニーズを対象としたもの

57. HIGA-MOORE M L et al. Use of focus groups in a library's strategic planning process. J Med Libr Assoc. 2002-01, 90(1), p. 86-92.
58. 坂井華奈子ほか. 公共図書館サービスに対する利用者選好：コンジョイント分析を利用して. 図書館情報メディア研究. 2003, 1(2), p. 15-33.
59. 中村和彦. 大学図書館の利用に影響する要因は何か？：利用者特性と状況が図書館利用や情報探索行動に及ぼす影響. 南山大学図書館紀要. 2003-05, (8), p. 3-25.
60. 常世田良. 視点：社会の変化と図書館 1: 情報ニーズと図書館. 情報管理. 2005, 48(4), p. 240-242.
61. 松戸宏予. イギリスの特別なニーズ教育と学校図書館の関わり：社会背景と学校図書館調査事例をもとに. 図書館情報メディア研究. 2005, 3(1), p. 89-120.
62. 杉江典子. 図書館における医療・健康情報の提供 わが国の公共図書館による健康情報提供に関する実態調査. 現代の図書館. 2005-12, 43(4), p. 183-192.
63. 平紀子. 特集：創立50周年記念日本薬学図書館協議会研究集会(平成17年度) テーマ：医薬情報スペシャリストとしてスキルアップ：事例報告 新しい時代の医薬情報スペシャリスト：地域住民の専門情報ニーズに応える専門図書館・大学機能の拡大に向けて. 薬学図書館. 2006, 51(1), p. 24-30.
64. 平田泰子. 公共図書館の多文化サービスを進めるために--情報ニーズ調査の必要性. カレントアウェアネス. 2008-06, (296), p. 2-4.
65. 櫻井由佳. 特集：[平成21年度専門図書館協議会]全国研究集会 チェンジ!!新たな専門図書館をめざして (第4分科会 どうする、どうなる、人材活用と育成)：読後コメントの活用とその効用--図書室内の情報を社内に関き、利用者のニーズを図書室に反映させる. 専門図書館. 2009, (237), p. 73-78.
66. 唯野貢司. 平成21年度日本薬学図書館協議会総会 地域連携における医薬情報の収集・提供について. 薬学図書館. 2009, 54(4), p. 260-264.
67. 原真由美ほか. 保育者の情報ニーズと情報収集について--保育者支援のための本学[横浜女子短期大学]図書館の役割. 横浜女子短期大学研究紀要. 2010, (25), p. 91-106.
68. 南俊朗. 図書館利用者理解への試み--貸出データを通して探る利用者プロフィール. 九州大学附属図書館研究開発室年報. 2010, (2010), p. 9-18.
69. 秋山美紀. 地域協働型のがん情報提供の試み:慶應義塾大学からだ館がん情報ステーション. 医学図書館. 2010-06, 57(2), p. 193-198.
70. McDonald Kurtis. 在米留学生の図書館におけるニーズ及び情報ニーズ. 神戸女学院大学論集. 2010-12, 57(2), p. 85-98.
71. 西浦ミナ子. 筑波大学附属図書館における学問領域別に見る利用者ニーズ. 三田図書館・情報学会研究大会発表論文集. 2011, (2011), p. 13-16.

72. 長谷川幸代. 情報サービスの利用・非利用の要因の仮説と分析：公共図書館の利用者・非利用者のインタビューとアンケートによる実態調査と分析. 情報プロフェッショナルシンポジウム予稿集. 2011-01, (8), p. 111-115.

## 1.2 特定の人物・団体・層における情報ニーズを対象としたもの

73. ADAMS M. The Latest and the Best: Information Needs of Pharmacists. *Sci Technol Libr.* 2001, 21(3-4), p. 87-99.
74. HALLMARK J. Information-Seeking Behavior of Academic Meteorologists and the Role of Information Specialists. *Sci Technol Libr.* 2001, 21(1-2), p. 53-64.
75. JEROME R N et al. Information needs of clinical teams: analysis of questions received by the Clinical Informatics Consult Service. *Bull Med Libr Assoc.* 2001-04, 89(2), p. 177-184.
76. ROWLAND F, RUBBERT I. An evaluation of the information needs and practices of part-time and distance-learning students in the context of educational and social change through lifelong learning. *J Doc.* 2001-11, 57(6), p. 741-762.
77. 向田厚子ほか. 患者及び家族の情報需要調査. *医学図書館.* 2001-12, 48(4), p. 404-409.
78. 松本ついで子, 小笠原サキ子. 特集: 開館時間と図書館サービス: 学生のニーズに即応した図書館サービス: 仙台市立看護専門学校図書室の試み. *看護と情報: 看護図書館協議会会誌.* 2002-03, (9), p. 47-50.
79. 阿部信一, 裏田和夫. 診療現場における臨床医の情報ニーズの発生と解決. *医学図書館.* 2003-09, 50(3), p. 252-259.
80. FIKAR C R, KEITH L. Information needs of gay, lesbian, bisexual, and transgendered health care professionals: results of an Internet survey. *J Med Libr Assoc.* 2004-01, 92(1), p. 56-65.
81. BAKER L M. Information needs at the end of life: a content analysis of one person's story. *J Med Libr Assoc.* 2004-01, 92(1), p. 78-82.
82. 奥山智紀ほか. プロフィール別に見る留学生の図書館・情報サービス利用: 東京大学における実態調査の分析から. *名古屋大学附属図書館研究年報.* 2004-03, (2), p. 31-42.
83. 阿部信一, 武藤桃子. 看護師の情報ニーズと情報探索行動: 慈恵医大医学部看護学科平成12年度卒業生を対象にしたアンケート調査. *看護と情報: 看護図書館協議会会誌.* 2004-03, (11), p. 42-48.
84. 鎌田文彦. 議会図書館分科会 議員ニーズの正確な把握の重要性を再確認 (図書館—未知の世界へのいざない 世界図書館情報会議—第71回国際図書館連盟 (IFLA) 大会に参加して). *国立国会図書館月報.* 2005-12, (537), p. 7-9.
85. 山下ユミほか. 大学附属病院長の情報ニーズと情報習慣. *医学図書館.* 2005-03, 52(1), p. 59-65.
86. MCKNIGHT Michelynn. The information seeking of on-duty critical care nurses: evidence from participant observation and in-context interviews. *J Med Libr Assoc.* 2006-04, 94(2), p. 145-151.
87. PERLEY Cathy M. Physician use of the curbside consultation to address information needs: report on a collective case study. *J Med Libr Assoc.* 2006-04, 94(2), p. 137-144.
88. 松戸宏予. 特別な教育的支援を必要とする児童生徒に対する学校司書の意識と対応. *日本図書館情報学会誌.* 2006-12, 52(4), p. 222-243.
89. 緒方裕光. 患者／家族のための良質な保健医療情報の評価・統合・提供方法に関する調査研究. 患者／家族のための良質な保健医療情報の評価・統合・提供方法に関する調査研究 平成18年度 総括・分担研究報告書. 2007, p. 1-7.

90. 緒方裕光ほか. 患者／家族のための良質な保健医療情報の評価・統合・提供方法に関する調査研究 4.臨床現場で発生する疑問解決のための情報提供方法に関する研究. 患者／家族のための良質な保健医療情報の評価・統合・提供方法に関する調査研究 平成 18 年度 総括・分担研究報告書. 2007, p. 71-78.
91. 緒方裕光ほか. 患者／家族のための良質な保健医療情報の評価・統合・提供方法に関する調査研究 5. 保健師を対象にした健康情報の提供に関する調査. 患者／家族のための良質な保健医療情報の評価・統合・提供方法に関する調査研究 平成 18 年度 総括・分担研究報告書. 2007, p. 79-86.
92. TAYLOR Katherine, CORRALL Sheila. Personalized service? Changing the role of the government librarian. *J Inf Sci.* 2007, 33(3), p. 298-314.
93. PRABHA Chandra et al. What is enough? Satisficing information needs. *J Doc.* 2007, 63(1), p. 74-89.
94. MARCELLA Rita et al. The information needs and information-seeking behaviour of the users of the European Parliamentary Documentation Centre A customer knowledge study. *J Doc.* 2007, 63(6), p. 920-934.
95. 医療・看護情報ネットワーク研究会. 看護師の医療情報ニーズと医学・看護図書館および患者図書室の役割と機能についての実態調査等報告書 2007. *情報学.* 2007, 4(2), 115p.
96. 平紀子. 特集: 日本薬学会第 127 年会薬学図書館協議会企画シンポジウム テーマ: 魅力ある医薬情報サービスをもとめて—大学. 病院薬企業のあり方を探る: 薬剤師の情報ニーズと薬学系大学図書館における役割(1)病院薬剤師を対象とした調査結果をもとに. *薬学図書館.* 2007, 52(3), p. 211-219.
97. 平紀子. 薬剤師の情報ニーズと医療系大学図書館における役割 (2.地域別. 経験年数別. *薬学図書館.* 2007, 52(4), p. 340-346.
98. GREFSHEIM Suzanne F, RANKIN Jocelyn A. Information needs and information seeking in a biomedical research setting: a study of scientists and science administrators. *J Med Libr Assoc.* 2007-01, 95(4), p. 426-434.
99. 平紀子, 三国久美. 保健師の情報ニーズと医療系大学図書館の役割. *医学図書館.* 2007-06, 54(2), p. 166-171.
100. CHARBONNEAU Deborah H et al. Collaboration addresses information and education needs of an urban public health workforce. *J Med Libr Assoc.* 2007-07, 95(3), p. 352-354.
101. 平紀子. 医療従事者と医療系図書館員の情報サービスにおける意識のギャップ. *情報の科学と技術.* 2007-08, 57(8), p. 404-409.
102. HEMMINGER Bradley M et al. Information Seeking Behavior of Academic Scientists. *J Am Soc Inf Sci Technol.* 2007-12, 58(14), p. 2205-2225.
103. HEMMIG William S. The information-seeking behavior of visual artists: a literature review. *J Doc.* 2008, 64(3), p. 343-362.
104. SHAIENDRA K., PRAKASH Hari. A study of information needs of Members of the Legislative Assembly in the capital city of India. *Aslib Proc.* 2008, 60(2), p. 158-179.
105. INSKIP Charles et al. A study of the information needs of the users of a folk music library and the implications for the design of a digital library system. *Inf Process Manag.* 2008-03, 44(2), p. 647-662.
106. 小林直子. 特集: 教職員への情報サービス: ピンポイントのニーズにこたえる. *学校図書館.* 2008-04, (690), p. 31-33.
107. 松戸宏予. 特別な教育的ニーズをもつ児童生徒に関わる学校職員の図書館に対する認識の変化のプロセス: 修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチによる分析を通して. *日本図書館情報学会誌.* 2008-06, 54(2), p. 97-116.

108. 西田美奈子. 夜間中学在籍者と識字: 識字学習者が抱える問題点と学習ニーズを探る. 三田図書館・情報学会研究大会発表論文集. 2009, (2009), p. 13-16.
109. 堤亮平. 特集: 第16回医学図書館研究会・継続教育コース: 地域医療に携わる医師の医学・医療情報の需要・ニーズ調査. 医学図書館. 2010-06, 57(2), p. 187-192.
110. O'GRADY Tina, BEAM Pauline S. Postdoctoral Scholars: A Forgotten Library Constituency?. *Sci Technol Libr.* 2011, 30(1), p. 76-79.
111. Tomaszewski R. Information needs and library services for doctoral students and postdoctoral scholars at Georgia State University? *Sci Technol Libr.* 2012, 31(4), p. 442-462.
112. MUGGLETON Thomas H, RUTHVEN Ian. Holmelessness and access to the informational mainstream. *J Doc.* 2012, 68(2), p. 218-237.

### 1.3 その他

113. RICHWINE M, MCGOWAN J J. A rural virtual health sciences library project: research findings with implications for next generation library services. *Bull Med Libr Assoc.* 2001-01, 89(1), p. 37-44.
114. ASH J. S. et al. Bundles: meeting clinical information needs. *J Med Libr Assoc.* 2001-07, 89(3), p. 294-296.
115. ROZIC-HRISTOVSKI A et al. Users' information-seeking behavior on a medical library Website. *J Med Libr Assoc.* 2002-04, 90(2), p. 210-217.
116. BRAWN Tammy S. Consumer health libraries: what do patrons really want? *J Med Libr Assoc.* 2005-01, 93(4), p. 495-496.
117. 黒田明子, 梶正憲. 特集: 第22回医学情報サービス研究大会: 医学・薬学予稿集全文データベースの利用動向とニーズ解析. 薬学図書館. 2006, 51(1), p. 59-62.
118. GENTRY Camillia A. et al. Conducting a user-centered information needs assessment: the Via Christi Libraries' experience. *J Med Libr Assoc.* 2007-04, 95(2), p. 173-181.
119. 坂内悟. 特集: 第13回医学図書館研究会・継続教育コース: JDreamPetit 利用者の検索行動から考察した一般市民の医療情報へのニーズ. 医学図書館. 2007-06, 54(2), p. 155-159.

## 2. 情報探索行動に関するもの

120. 岡澤和世. 情報探索行動研究の調査方法. *Journal of library and information science.* 2004, (18), p. 9-24.
121. 岡澤和世. 情報探索行動研究の展望と動向: Case 著『Looking for information』文献展望を中心に. *Journal of library and information science.* 2005, (19), p. 1-28.
122. 國本千裕. 情報探索行動の「開始」と課題認識: 一般人による医療情報探索行動例. 三田図書館・情報学会研究大会発表論文集. 2006, (2006), p. 37-40.
123. 寺井仁ほか. 情報要求と情報源利用に関するプランニングが情報探索行動に与える影響. 名古屋大学附属図書館研究年報. 2007, (6), p. 39-45.
124. 岡澤和世. 情報探索行動研究と活動理論. *Journal of library and information science.* 2010, (24), p. 11-36.
125. 三輪眞木子. 情報行動: システム志向から利用者志向へ. 勉誠出版, 2012, 205p.
126. Case, Donald Owen ed. *Looking for information: a survey of research on information seeking, needs, and behavior.* 3rd ed., Bingley, Emerald, 2012, 491p.

## 2.1 図書館における情報探索行動を対象としたもの

- 127.松田千春. 情報探索におけるブラウジング行動: 図書館と書店における行動観察を基にして. *Library and information science*. 2003, (49), p. 1-31.
- 128.中村和彦. 大学図書館の利用に影響する要因は何か?: 利用者特性と状況が図書館利用や情報探索行動に及ぼす影響. *南山大学図書館紀要*. 2003-05, (8), p. 3-25.
- 129.中島幸子. (1)図書館情報サービスの視点からみた情報探索行動 (第94回研究例会報告. 図書館学教育研究グループ研究例会報告). *図書館界*. 2003-09, 55(3), p. 188-190.
- 130.種市淳子. 短期大学生の情報探索行動の分析. *情報化社会・メディア研究*. 2005, (2), p. 25-34.
- 131.PRIGODA Elena, MCKENZIE Pamela J. Purls of wisdom A collectivist study of human information behaviour in a public library knitting group. *J Doc*. 2007, 63(1), p. 90-114.
- 132.SADLER Elizabeth, GIVEN Lisa M. Affordance theory: a framework for graduate students' information behavior. *J Doc*. 2007, 63(1), p. 115-141.
- 133.寺井仁. 講演要旨 図書館利用者の情報探索行動に関する実証的研究. *東海地区大学図書館協議会誌*. 2007, p. 9-17.
- 134.種市淳子, 逸村裕. 短期大学図書館における情報探索行動: 目次を付与した OPAC のログ分析と検索実験をもとにして. *名古屋大学附属図書館研究年報*. 2007, (5), p. 57-68.
- 135.KARUNANAYAKE K. G. D. A., NAGATA Haruki. Students' Patterns of Library Use Focusing on Information Search. *図書館情報メディア研究*. 2009-03, 6(2), p. 37-49.
- 136.種市淳子ほか. 短期大学図書館における情報探索行動の実験的検討. *Library and information science*. 2010, (64), p. 177-192.
- 137.安蒜孝政ほか. 図書館における情報探索行動. 2010年日本図書館情報学会春季研究集会発表要綱. 2010-05, p. 87-90.
- 138.OOI Kamy, LIEW Chern Li. Selecting fiction as part of everyday life information seeking. *J Doc*. 2011, 67(5), p. 748-772.
- 139.杉江典子. 公共図書館における利用者の情報探索行動: インタビュー記録の質的分析による概念と理論の生成. *日本図書館情報学会誌*. 2011-03, 57(1), p. 1-18.
- 140.稲垣拳, 赤川貴雄. 北九州市立大学図書館における来館者の探索行動分析. *日本建築学会九州支部研究報告3計画系*. 2012-03, (51), p. 33-36.
- 141.堀内麻由ほか. 一人称視点カメラを用いた情報探索行動の推定. *情報処理学会研究報告 (CD-ROM)*. 2012-06, 2012(1), (ROMBUNNO.CVIM-182,NO.1) .

## 2.2 ウェブにおける情報探索行動を対象としたもの

- 142.齋藤ひとみ, 三輪和久. 特集: 教育における認知的アプローチ/一般: WWW の情報探索における人間の行動プロセスの実験的検討. *電子情報通信学会技術研究報告. ET, 教育工学*. 2001-06, 101(115), p. 23-28.
- 143.安藤友張. 教育学研究者の情報探索行動と電子情報メディアの利用: 構造的面接法を用いた調査結果から. *短期大学図書館研究*. 2002, (22), p. 13-21.
- 144.SPINK A. et al. Multitasking Information Seeking and Searching Processes. *J Am Soc Inf Sci Technol*. 2002-06, 53(8), p. 639-652.
- 145.PETTIGREW K E et al. Facilitating Community Information Seeking Using the Internet: Findings from Three Public Library-Community Network Systems. *Am Soc Inf Sci Technol*. 2002-09, 53(11), p. 894-903.
- 146.MOYO L. M. The Virtual Patron. *Sci Technol Libr*. 2004, 25(1-2), p. 185-209.
- 147.CASE D. O. et al. From Two-Step Flow to the Internet: The Changing Array of Sources for Genetics Information Seeking. *J Am Soc Inf Sci Technol*. 2004-06, 55(8), p. 660-669.

148. ZHANG D. et al. User Information Seeking Behavior in a Medical Web Portal Environment: A Preliminary Study. *J Am Soc Inf Sci Technol.* 2004-06, 55(8), p. 670-684.
149. NICHOLAS David et al. Scholarly journal usage: the results of deep log analysis. *J Doc.* 2005, 61(2), p. 248-280.
150. 種市淳子, 逸村裕. Web の探索行動と情報評価過程の分析. 名古屋大学附属図書館研究年報. 2005, (3), p. 1-13.
151. 種市淳子, 逸村裕. エンドユーザーの web 探索行動: 短期大学生の実験調査にもとづく情報評価モデルの構築. *Library and information science.* 2006, (55), p. 1-23.
152. 後藤宣子. 高校生の Web 情報探索行動に批判的思考の志向性が与える影響. *Journal of library and information science.* 2006, (20), p. 59-69.
153. 逸村裕, 種市淳子. 大学生のサーチエンジン情報探索行動の分析: タイムサンプリング法を用いて. 名古屋大学附属図書館研究年報. 2006, (4), p. 1-12.
154. 相良佳弘. 特集: 第 14 回 (2006 年度) 年次大会 (研究報告会&総会): 問題解決を目的とした WWW 情報探索行動の特徴. *情報知識学会誌.* 2006-05, 16(2), p. 29-32.
155. 相良佳弘. 特集: 第 11 回情報知識学フォーラム「情報の観察と計測」—Web の情報知識学—: WWW 探索行動研究における諸問題: 「探索の成功」という概念を中心に. *情報知識学会誌.* 2006-10, 16(4), p. 41-50.
156. 種市淳子, 逸村裕. 短期大学図書館における情報探索行動: 目次を付与した OPAC のログ分析と検索実験をもとにして. 名古屋大学附属図書館研究年報. 2007-03, (5), p. 57-68.
157. NICHOLAS David et al. Student digital information-seeking behaviour in context. *J Doc.* 2009, 65(1), p. 106-132.
158. 江草由佳ほか. Link Depth: Web 情報探索行動の閲覧パターンの分析. *情報処理学会研究報告. データベース・システム研究会報告.* 2009-07, (148), p. 1.
159. 市村光広ほか. 視点の軌跡を中心とした情報探索行動の包括的分析. *デジタル図書館,* 2009-11, (37), p. 40-45.
160. NICHOLAS David et al. E-textbook use, information seeking behaviour and its impact: Case study business and management. *J Inf Sci.* 2010-04, 36(2), p. 263-380.
161. 高久雅生ほか. タスク種別とユーザ特性の違いが Web 情報探索行動に与える影響: 眼球運動データおよび閲覧行動ログを用いた分析. *情報知識学会誌.* 2010-10, 20(3), p. 249-276.

### 2.3 ハイブリッドな情報環境における情報探索行動を対象としたもの

162. GIANNINI T. Comparing information seeking behavior in real and virtual environments. *Proc Natl Online Meet.* 2002, (2002), p. 21-31.
163. 寺井仁. ハイブリッドな情報環境における利用者の情報探索行動—大学図書館を例に—. *日本認知科学大会発表論文集.* 2007, (24), p. 520-525.
164. 寺井仁. 大学図書館における情報探索活動に関する研究: われわれはいかに異なる情報源を活用しているのか?. 名古屋大学附属図書館研究年報. 2007-03, (5), p. 69-82.
165. 寺井仁ほか. 情報要求と情報源利用に関するプランニングが情報探索行動に与える影響. 名古屋大学附属図書館研究年報. 2008-03, (6), p. 39-45.
166. 寺井仁. 特集: 情報の信頼性: ハイブリッドな情報環境における情報探索行動の分析. *情報の科学と技術.* 2011-01, 61(1), p. 15-21.
167. 寺井仁. ハイブリッドな情報環境における情報探索行動に関する実証的研究. *日本図書館情報学会誌.* 2011-06, 57(2), p. 43-62.

#### 2.4 特定集団を対象とした情報探索行動を対象としたもの

168. FLAXBART D. Conversations with Chemists: Information-Seeking Behavior of Chemistry Faculty in the Electronic Age. *Sci Technol Libr.* 2001, 21(3-4), p. 5-26.
169. WHITMIRE E. Disciplinary Differences and Undergraduates' Information-Seeking Behavior. *J Am Soc Inf Sci Technol.* 2002-06, 53(8), p. 631-638.
170. COOPER L. Z. A Case Study of Information-Seeking Behavior in 7-Year-Old Children in a Semistructured Situation. *J Am Soc Inf Sci Technol.* 2002-09, 53(11), p. 904-922.
171. TOMS E. G., DUFF W. "I Spent 1 1/2 Hours Sifting Through One Large Box...": Diaries as Information Behavior of the Archives User: Lessons Learned. *J Am Soc Inf Sci Technol.* 2002-12, 53(14), p. 1232-1238.
172. BELEFANT-MILLER H, KING D. W. A Profile of Faculty Reading and Information-Use Behaviors on the Cusp of the Electronic Age. *J Am Soc Inf Sci Technol.* 2003-01, 54(2), p. 179-181.
173. OWEN D. J., FANG M.-L. E. Information-seeking behavior in complementary and alternative medicine (CAM): an online survey of faculty at a health sciences campus. *J Med Libr Assoc.* 2003-07, 91(3), p. 311-321.
174. WASTAWY S. F. et al. Learning Communities: An Investigative Study into Their Impact on Library Services. *Sci Technol Libr.* 2004, 24(3-4), p. 327-374.
175. ONWUEGBUZIE A. J., JIAO Q. G. Information Search Performance and Research Achievement: An Empirical Test of the Anxiety-Expectation Mediation Model of Library Anxiety. *J Am Soc Inf Sci Technol.* 2004-01, 55(1), p. 41-54.
176. DAVIS P. M. Information-Seeking Behavior of Chemists: A Transaction Log Analysis of Referral URLs. *J Am Soc Inf Sci Technol.* 2004-02, 55(4), p. 326-332.
177. 阿部信一, 武藤桃子. 看護師の情報ニーズと情報探索行動: 慈恵医大医学部看護学科平成12年度卒業生を対象にしたアンケート調査. *看護と情報.* 2004-03, (11), p. 42-48.
178. ELLIS D, OLDMAN H. The English literature researcher in the age of the Internet. *J Inf Sci.* 2005, 31(1), p. 29-36.
179. BROWN Cecelia. Where Do Molecular Biology Graduate Students Find Information?. *Sci Technol Libr.* 2005, 25(3), p. 89-104.
180. DEE Cheryl, STANLEY Ellen E. Information-seeking behavior of nursing students and clinical nurses: implications for health sciences librarians. *J Med Libr Assoc.* 2005-04, 93(2), p. 213-222.
181. MABAWONKU Iyabo. The information environment of women in Nigeria's public service. *J Doc.* 2006, 62(1), p. 73-90.
182. 若井あや子. 日本近現代文学を専攻する学生の情報探索プロセスの研究: 未熟練な学習者の情報探索行動について. 三田図書館・情報学会研究大会発表論文集. 2006, (2006), p. 13-16.
183. WESSEL Charles B. et al. Information-seeking behavior and use of information resources by clinical research coordinators. *J Med Libr Assoc.* 2006-01, 94(1), p. 48-54.
184. WALLIS Lisa C. Information-seeking behavior of faculty in one school of public health. *J Med Libr Assoc.* 2006-01, 94(4), p. 442-446.
185. 菅原仁子, 萩原敏朗. 中学生の情報探索行動の分析—図書館とインターネットの利用が生徒の情報探索行動に及ぼす影響—. *教育情報学研究.* 2006-03, (4), p. 47-65.
186. MCKNIGHT Michelynn. A grounded theory model of on-duty critical care nurses' information behavior. *J Doc.* 2007, 63(1), p. 57-73.
187. WILLIAMS Dorothy, COLES Louisa. Evidence-based practice in teaching: an information perspective. *J Doc.* 2007, 63(6), p. 812-835.

188. URQUHART Christine et al. Changes in information behavior in clinical teams after introduction of a clinical librarian service. *J Med Libr Assoc.* 2007-01, 95(1), p. 14-22.
189. ANKEM Kalyani. Information-seeking behavior of women in their path to an innovative alternate treatment for symptomatic uterine fibroids. *J Med Libr Assoc.* 2007-04, 95(2), p. 164-172.
190. REVERE Debra et al. Understanding the information needs of public health practitioners: A literature review to inform design of an interactive digital knowledge management system. *J Biomed Inform.* 2007-08, 40(4), p. 410-421.
191. ROWLANDS Ian et al. The Google generation: the information behaviour of the researcher of the future. *Aslib Proc.* 2008, 60(4), p. 290-310.
192. O'FARRELL Mary, BATES Jessica. Student information behaviours during group projects A study of LIS students in University College Dublin. *Aslib Proc.* 2009, 61(3), p. 302-315.
193. 國本千裕. 情報探索行動の開始メカニズム: 医学・医療情報の探索実例を通じて. *Library and information science.* 2010, (64), p. 55-79.
194. 三輪眞木子. 情報行動文法モデルの適用範囲の拡張: 社会科学領域の研究者の情報探索行動. *社会情報学研究.* 2010, 14(1), p. 47-62.
195. HAINES Laura L. et al. Information-seeking behavior of basic science researchers: implications for library services. *J Med Libr Assoc.* 2010-01, 98(1), p. 73-81.
196. 中谷佳男. 心の悩みをもつ人への図書館サービス 受療行動と情報行動の分析結果からみえてきたもの. *現代の図書館.* 2010-09, 48(3), p. 197-202.

## 2.5 その他

197. 新垣紀子ほか. 人の検索行動における情報入手戦略の視線による分析. *映像情報メディア学会技術報告.* 2001-02, 25(18), p. 17-24.
198. 徐亨錫. マーケット・メイブニズム(Market Mavenism)と消費者の情報探索行動. *慶應義塾大学大学院社会学研究科紀要.* 2006, (62), p. 61-76.
199. 大橋正彦. わが国消費者における情報探索行動の規定因と経営診断: —JGSS-2003 年データによる検証結果—. *日本経営診断学会論集.* 2006, (6), p. 106-118.
200. 市村光広ほか. 視点の軌跡を中心とした情報探索行動の包括的分析. *情報処理学会研究報告. 情報学基礎研究会報告.* 2009, (1), p. 1-6.
201. 上枝正幸. 情報の価値・情報入手行動に関する一考察—理論および実験研究. *追手門経済・経営研究.* 2009-03, (16), p. 45-118.
202. 金子光義ほか. 7378 メディア情報の差異による経路探索行動に関する研究 : その3. 探索歩行時の注視傾向について (空間行動分析 (1) (都市計画)). *学術講演梗概集. F-1, 都市計画, 建築経済・住宅問題.* 2010-07, (2010), p. 803-804.